

尺イワナを釣りました

2015.6.6～7 釣友と

念願の釣り場に行って来ました。6日7:00前に釣友と合流し、目的地入り口のゲートへ。釣りの時の集合時間にしては遅い時間なのは朝方まで雨降り予報のため。しかし霧雨が降り続く、落石や倒木で歩きずらい道を10KGを超すザックを背負って黙々と歩く事2時間以上小屋に到着。雨が上がるまで早速缶ビールを飲むがなかなか降りやまない。1時過ぎにやっと止んだので今日つまみ用を釣りに出かける。少し濁った釣りには最高の条件なのに釣果は思わしく無い。大型が棲息しそうな大きな淵がアチコチにあるが、釣れたのは二人でやっとの塩焼きサイズ3匹と小型が2匹のみ。小屋に戻って飲み直し。釣り談義をして21:00に寝る。

炭持参でイワナは塩焼き



採ったコゴミもつまみに



笹濁りで好条件です



7日は朝から好天に。3時ころから目が覚めているのに、何故か出発は6:00。30分ほど歩いて上流の溪で釣る。今日も笹濁りの好条件。入渓者も今年はまだ少ない感じで胸が高まる。しかし魚影は少ない。上流へ釣りあがると大型が釣れ始める。いかにも大型イワナが居そうな淵も多くなる。相棒は良型を釣っているが、当方は小型中心が続く。やっと私が立て続きに大型を釣る。何年振りだろうかやっと念願の「尺イワナ」を釣り上げる。続いて相棒がデカイのを針に掛けた。

尺イワナと沢靴一式装備



私も見物に。彼もどう取り込むか悩んでいる。糸を切られる心配がある大物なので。持参の網も使えず、砂地も無いのでとうとうごぼう抜きに引き上げる。こういう時は途中で糸が切れても川（水）から離れた場所に引き上げるしか方法は無い。糸が切れずに無事確保できた。早速体長の計測、彼は常時スケールを持参している。34CMある。私も記念に写真を撮らせて貰う。私の釣った尺イワナもそうだが「精悍な顔つき」をしている。正に「溪流の王」の風格である。更に上流へ釣り上がりたかったが次回のお楽しみにして小屋へ戻る。まだ残雪もあり、ウドは遅かったが沢山あった。コゴミは遅いけど残雪付近ではちょうど採りごろだった。

大型の居そうな淵です

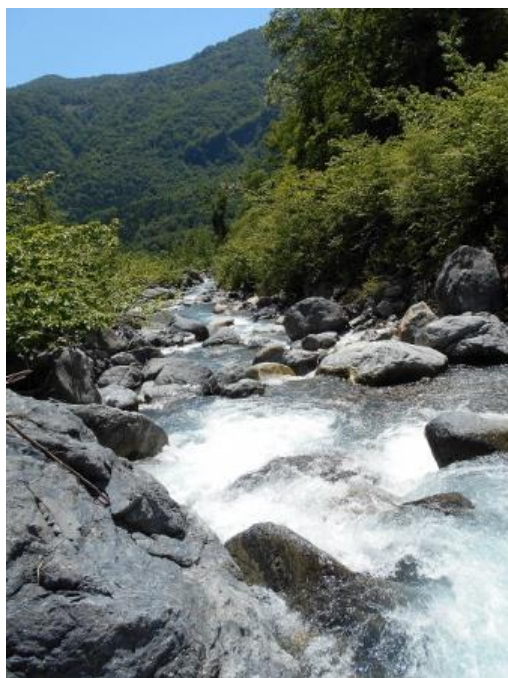


こんな溪相の釣り場です

相棒の釣った 34CM



デカイです



気持ちの良い熊の多そうな所



釣果で重くなったザックを背負って（保冷用に雪を使うのでさらに重くなる）しつこい虫もない道を下山する。お互いに大型が何匹も釣れて大満足の釣行だった。（総数的には多くないが）今回の釣行の目的には私が初めて購入した「沢靴一式」の試用と重いザックを背負っての体調のチェックがあった。沢靴は6～9月期の源流釣行に今後使用する事にする。

残雪も豊富



履き心地は良いし。もちろん今夏の渡渉を伴う山行（幌尻岳・カムエク）にも使用する。持ち物等で反省点もあり、今後に生かしたい。10KGを超すザックを背負っての山行は膝・腰が弱ってきて大変になってきたと実感しました。特に2～3泊の縦走山行は膝・腰が持つか？今回は急な登下降が無かったけどダメージがあるので。なお場所等については特定できないように記述しました。（今後もまた行きたいので）

赤沼健治